

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年3月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2773000688		
法人名	株式会社ライフサポートジャパン		
事業所名	ゆうとび庵大阪・淡路		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪市東淀川区東淡路5-8-38		
自己評価作成日	平成22年3月31日	評価結果市町村受理日	平成22年6月14日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	<a href="http://www.osaka-kaiyohoken-kohyou.jp/">http://www.osaka-kaiyohoken-kohyou.jp/</a>
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8号-102
訪問調査日	平成22年4月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

現在は休止しておりますが自治会主催で1回/月に開催しておりました「ふれあい喫茶」の参加や、近隣の方によるハーモニカ演奏のボランティア受入、またAED設置や小学校PTAが主催で行っております「こども110番」への登録等…今後も地域の皆様に少しでもご理解して頂け、また愛されるグループホームになる様に色々な事に取り組んでいきたいと考えております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

交通の便の良い住宅地に位置するホームは、徒歩圏内にスーパーや商店街等も多く点在し、利便性に恵まれた環境が整っている。地域社会とのつながりを大切に、地域住民の一員として自治会に加入し、自治会主催の催しへの参加や役員の方との情報交換などの交流が継続されている。また、AEDの設置や子ども110番への登録など、地域貢献活動についても積極的に取り組み、地域密着型サービスとしての役割を果たしている。定期的に行われる運営推進会議では、ホームの現状や第三者評価結果の報告、その時期に応じたタイムリーな情報提供等があり、参加メンバーからも率直な意見・提案が出され、サービスの質の向上に活かせるよう取り組んでいる。基本理念である「よりよい介護」「感動ある介護」を職員は意識しながらケアに取り組むと共に、利用者が住み慣れた地域でその人らしく暮らしていけるよう、地域と協力し支援していく事を目指している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践                      地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>定期的にフロア会議を開催し理念の共有と実践に向けて取り組んでおります。</p>	<p>基本理念を基に、具体的に地域密着型の役割を意識した方針を8項目掲げている。また、ユニットごとに特に大切にしていきたい事をスローガンとして掲げている。理念はホーム内に掲示するとともに、新人研修で学び、月1回のフロア会議の中で介護計画のモニタリングを行う際に理念を意識しながら振り返るよう取り組んでいる。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい                      利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会長を通じて交流を図らせて頂いており、ボランティアの方に来て頂いております。</p>	<p>自治会に加入し、行事や催し等への参加にて近隣住民と交流の機会がある。小学校の校庭開放時の行事へ参加し、多世代間での交流が継続されている。ハーモニカ演奏など地域ボランティアの受け入れが積極的で、子ども110番の登録やAEDの設置など、地域に活用してもらえるような働きかけもなされている。</p>	

3	<p>○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>『子供110番』の登録やAED設置の案内を玄関に近隣の方のご利用を促進しております。</p>		
4	<p>○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度は必ず開催しており、多数のご意見等を頂戴し活用させて頂いております。</p>	<p>会議は年間実施計画にそって、2カ月に1回定期的に開催している。利用者家族・自治会長・地域包括支援センター職員等が参加し、状況に応じて利用者の参加の機会もある。第三者評価・ホームの活動内容、ホーム便りの内容、災害時訓練の状況報告等行っている。また、インフルエンザ等感染症対策など、その時期に応じたタイムリーな情報提供等もあり、参加メンバーとの活発な意見交換や提案等をサービスの質の向上に活かせるよう取り組んでいる。</p>	
5	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>運営上で困った事等がある時には常に相談させて頂いて。</p>	<p>行政とはメールや電話等も活用し相談や情報交換の機会を多く持っている。利用者が入居前に住んでいた居住地の市町村との関わりもあり、個々の利用者への適切な支援につなげている。</p>	

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる</p>	<p>社内外研修等にて職員への周知徹底を図っております。</p>	<p>身体拘束・虐待と認知症の症状との関連性を考慮し、認知症を理解する事も含めて研修を行っている。日常のケアでも意識付けができるようマニュアルを整備している。職員のストレスや介護疲れの蓄積が身体拘束や虐待に繋がらないよう対応策を検討している。施錠については、日中は極力鍵をかけないよう取り組み、安全に配慮しながらも、利用者の自由な行動を制限しない支援を心がけている。</p>	
7		<p>○虐待防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>上記同様に職員への周知徹底を図っております。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>各会議を通じて学ぶ機会を設けております。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>その都度時間を掛け、誤解のない様に対応しております。</p>		

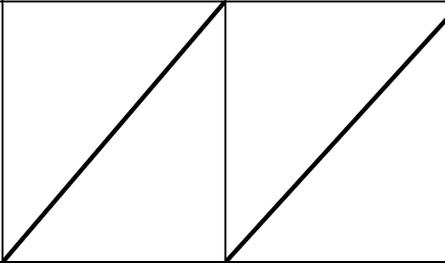
<p>10</p>	<p>6</p>	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映                  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族様の来庵時や運営推進会議、また家族会の場等で積極的に意見を取り入れる様しております。</p>	<p>月1回のホーム便りや近況報告の送付にて、利用者の日常の様子を家族に理解してもらっている。家族面会時・運営推進会議・年に1回開催の家族会などで意見や要望を聴けるよう働きかけている。利用者・家族からの苦情・相談は職員間で解決に向け検討し、状況によっては記録に残し共有できるよう取り組んでいる。</p>	
<p>11</p>	<p>7</p>	<p>○運営に関する職員意見の反映                  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>各会議にて意見・提案を聞く場を設け、常に改善に向けての取り組みをしている。</p>	<p>日常の関わりの中やフロアーミーティング等で、個々の職員の意見や要望を聴くよう取り組み、出された意見・提案等は運営面に活かされるよう努めている。職員のストレスの状況を把握し、相談に応じれるよう配慮している。職員の異動は法人内では極力少なくするよう取り組んでいる。異動や入職の状況は家族等の理解を得るためにホーム便りなどで知らせている。</p>	

12	<p>○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>各職員のスキルアップや資格取得に伴う手当等の設定にて就業環境の改善に努めております。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間計画に基づき全職員対象に内部研修を行っております。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>他のグループホームとの間で相互訪問等を行いサービスの質の向上に取り組んでいます。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居相談時から本人様との面談等を通じた情報収集により関係づくりに努めております。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>上記同様に対応しております。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>様々な専門機関との連携を図る事により対応出来る様に努めております。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者様の思いに近づき共感し合える関係づくりをこれからも築いて行きたいと考えております。</p>		

19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族様の来庵時には入居者様の状況等をお伝えする事により情報の共有を図る様に努めております。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族様との連携により段階的にホームの生活に馴染める取組等を行っております。</p>	<p>家族等からの情報をもとに、利用者のバックグラウンドを把握し、関わってきた人々や経験してきた事との関係性が途切れないよう支援している。親しかった友人の訪問や電話などがあり、家族と相談しながらプライバシーにも配慮した対応がなされている。</p>	
21	<p>○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>職員の関わりによりその人らしく生活して頂ける様に努めております。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>本人様た家族様の状況を尋ねたり、相談時には出来る限りの支援は行っております。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時のアセスメントや入居後の観察等によりホーム内の生活で反映出来る様、取組を行っております。	入居時に利用者・家族の思いや希望を確認し、フェイスシートに記録している。入居後は、利用者ごとの経過シートを作成し、日常の関わりの中で個々の心身の状態や意向の変化を記入していき、職員間での情報共有を徹底し適切なケアに結び付けている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	家族様からの情報や各サマリー等の活用を行っております。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	体調変化や水分摂取等の記録により現状の把握に努めております。	
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族様の希望をプランに反映し、モニタリングでの評価を毎月行っております。	フェイスシートやアセスメント表を参考に利用者・家族・職員の意見を反映させた介護計画を作成し、家族へ説明し同意をもらっている。月に1回のフロアーミーティングで個々の利用者のモニタリングを行い、利用者に状態変化があればその都度計画を修正し、変化がない場合も3カ月に1回の定期的な見直しを実施されている。ケア実施表を使い、介護計画に沿ったケアの実践が確実なものとなるよう取り組んでいる。

27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各記録、各会議の活用により行っております。		
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関への通院や介護用品の一時使用等の取組を行っております。		
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会主催のふれあい喫茶参加や図書館の利用、またボランティア受入等に取り組んでおります。		
30 11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診及び通院時の対応等希望に沿った支援を行っております。	内科・外科・心療内科の往診や訪問看護の活用にて、利用者の日常の健康管理や医療的な支援がなされ、医療連携体制が確立されている。利用者の馴染みのかかりつけ医等への受診希望があれば、職員が付き添い、受診結果については、家族への報告・職員間での情報共有が確実に行えるよう取り組んでいる。	利用者の心身の状態変化に応じて的確で迅速な対応ができるよう利用者ごとの家族等緊急連絡先が明示されているが、かかりつけ医等担当医の連絡先の明記も整備していく事が望まれる。
31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	訪問看護師との連携により適切な支援を行っております。		
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院時は病院の医療連携室等との情報交換により早期退院に向け対応しております。		

33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援                  重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居前と契約時には家族様に当庵の方針を説明し同意を頂いております。</p>	<p>重度化や看取り支援についてのホームの指針は、入居前と契約時に文書にて説明し同意書を交わしている。継続的に研修を実施し職員のレベルアップに努めている。利用者の状態に応じ、段階的に家族等の意向を確認しながら、関係者間で検討を重ね方針を統一し、適切に支援できる体制を整えている。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え                  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアルや定期的な研修により対応しております。</p>	
35	13	<p>○災害対策                  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練実施や地域の協力体制の確保等に取り組んでおります。</p>	<p>火災等の夜間発生も想定した避難訓練を、年に2回利用者も参加し実施している。今年度は消火器の設置を増やし、IHの調理器具に変更するなど積極的な取り組みも見られる。フロア毎に非常袋を設置し、飲料水等を備蓄し災害に備えている。運営推進会議で災害対策について報告し協力を依頼すると共にし、近隣のタクシー会社等へも災害時の応援を依頼している。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>個人情報の管理の徹底や職員の雇用契約時に誓約書を交わしております。</p>	<p>ホームが掲げた8項目の方針の中にも、「ご利用者の自尊心と人生を尊重し、考える介護・気づきある介護の提供」を掲げており、職員は意識した対応に努めている。個人情報の保護については、ホームの方針を掲示し、利用目的についても利用者・家族に説明し同意をもらっている。ホーム内で研修を実施し認識を深め合い日々の対応に配慮している。</p>	<p>今後は（更に）倫理や法令遵守の研修の中でも、個人情報保護法など法令の順守や、高齢者の尊厳や権利を守る為のプライバシーの確保について学んでいくことを期待する。</p>
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ご本人様の意向に沿った介護を行っております。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>上記同様に取り組んでおります。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>入居者様の希望に沿って美容院等にも行ける取組みを行っております。</p>		

40	<p>15</p> <p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者様の希望や好みメニューに反映する等して取り組んでおります。</p>	<p>カロリーや栄養バランスに配慮された献立表をもとにホーム内で調理し、利用者に食事提供されている。食事に関する作業の中で、野菜を切る・お盆拭き・食器片づけ等を利用者と共に行い、本人の力が引き出せるよう支援している。利用者の希望を採り入れたメニューへの変更も可能で、フロア毎に「そば打ち」等イベントメニューを企画したり外出に行くなど工夫している。食事委員会を中心に、より良い食形態・食環境について検討を重ねている。</p>	
41	<p>○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>カロリーや栄養バランスに配慮した献立を提供し、個々に応じた形の提供を行っております。</p>		
42	<p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後のうがい・歯磨きを行い、週1回の歯科往診等を行っております。</p>		

43	16	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>定時の声掛けやトイレ誘導の取組み等を行っております。</p>	<p>利用者のこれまでの排泄習慣を把握し、それぞれの排泄パターンや兆候にあわせ誘導している。必要があればケアプランにも反映し個々にあった排泄支援を行っている。状況に応じて同姓による介助やポータブルトイレを使用するなど、不安や羞恥心に配慮しながら自立に向けた支援を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分摂取量や排便管理を行っており、牛乳や乳性飲料を飲んで頂く等で対応しております。</p>	/	/
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>ひとり一人の希望に応じ対応しております。</p>	<p>希望があれば、毎日の入浴にも対応できるよう取り組んでいる。入浴時間は午後からが基本だが、出来る限り利用者の意向にそえるよう支援している。希望すれば同姓介助での対応や、個々の身体状況に沿ってさりげない見守り・介助等行い、安全面への配慮と共にプライバシーを大切にしたい支援を心がけている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>昼寝の時間を設ける等個々の状態に合わせた対応を行っております。</p>	/	/

47	<p>○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>処方されています 薬の副作用や飲み方等は毎日注意して対応しております。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>ひとり一人の趣味趣向に合わせ、毎日を楽しく過ごせる取組を行っております。</p>		
49 18	<p>○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>図書館の利用やドライブ等希望に沿った外出支援に取り組んでおります。</p>	<p>近隣にはスーパーや市場が多く点在し買い物を楽しむ機会や、図書館に行く・散歩をする等、個々の希望や心身の状況にあった外出の機会も積極的に作っている。また年間の行事の中での外出支援や、季節や天候に配慮しながら花見・ドライブ・外食などに出かけるなど、柔軟に対応できるよう取り組んでいる。</p>	
50	<p>○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望時等は一緒に買い物に行く等して対応しております。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族様からの電話を取り次いだり、入居者様から希望があれば支援しております。</p>		

52	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ゆとりのある雰囲気づくりに取り組んでおります。</p>	<p>フロアの窓からはやわらかい日差しが差し込み、温度調節や換気等についても、利用者の様子を見つつ適切な空調管理を行い、ゆったりと穏やかに過ごせる空間づくりがなされている。ユニット毎に利用者の関心や状態に合った装飾の工夫が見られ、記念の写真や絵画・懐かしい歌を見やすく掲示するなど、利用者の適度な五感刺激となるよう配慮されている。</p>	
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テラスを自由に使用して頂ける様にしております。</p>		
54	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みある持ち物の持ち込み等の支援を行っております。</p>	<p>本人や家族と相談し馴染みの家具・仏壇・テレビ等を持ち込み、一人一人に合った環境で思い思いに過ごせるよう取り組んでいる。居室の清掃は利用者の力量を見極めながら対応し、さりげない見守りや介助を行っている。</p>	
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>危機管理委員会を中心に安全な環境づくりに取り組んでおります。</p>		

V アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない